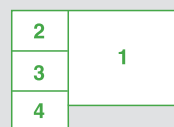
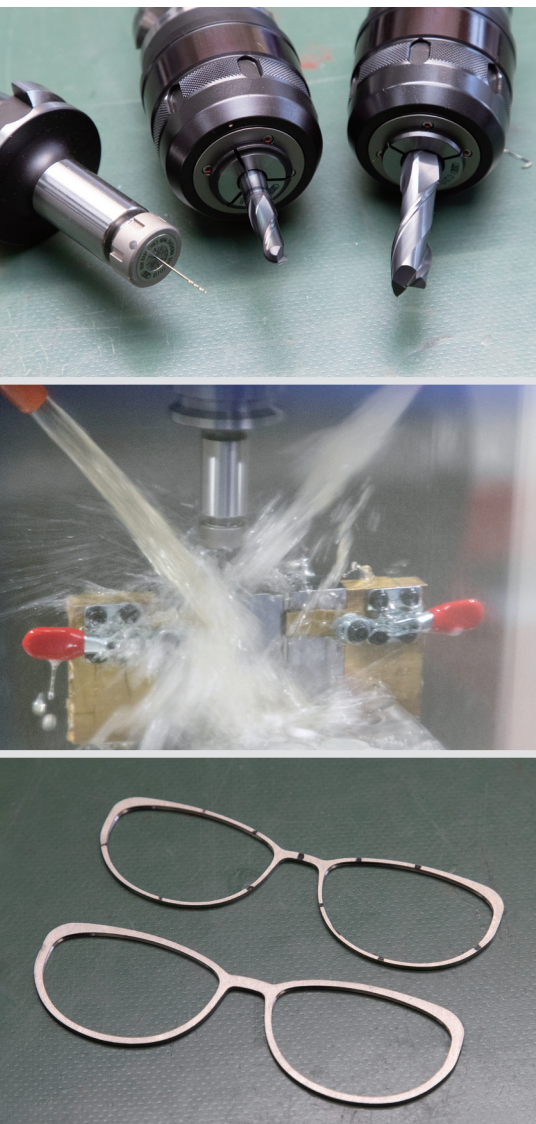


株式会社 TANABE

- ▶ 対象類型 精密加工
- ▶ 事業類型 小規模型
- ▶ 主たる目的 加工領域拡大、技術継承

マシニングセンタによる加工領域拡張と新分野への販路拡大



1/今回導入したマシニングセンタ「S700X1」。多工程や多数個の加工も、ひとつのプログラミングで対応できる。 2/加工の種類に合わせ、様々な工具を計14本収納することができる。 3/あらかじめ設定したプログラミングにより、全自動で加工を行う。レーザー加工ではできない、より立体的な加工が可能になった。 4/加工の一例。レーザー加工で切り出した枠の内側を、マシニングセンタで研磨する。

こんな会社です！



代表取締役社長
田辺 俊紀さん

微細加工と、徹底した品質管理による信頼が強み。

2005年に創業した弊社は、主として眼鏡部品の製造を行い、微細加工を得意としています。小型精密加工設備を複数台保有するなど、レーザー加工専門の業者としては類まれな設備環境を整えているのも弊社の特徴です。従来より、画像測定器を用いた品質管理を徹底し、鯖江圏内において外注扱いで発注されるレーザー加工の80%強を手掛けるなど、取引先様から大きな信頼を寄せていただいています。また、現在はチタン加工技術を応用し、眼鏡部品以外にも機械部品、医療部品やアクセサリ分野にも進出しています。

マシニングセンタによる加工領域拡大と新分野への進出。

チタンをはじめとした金属加工を行っており、レーザー加工機による精密切削などを専門とする。眼鏡部品を中心に機械部品や医療部品、アクセサリ分野の加工を手掛け、鯖江市内において外注扱いで行われる眼鏡部品加工のうち、およそ80%を手掛けるなど、高いシェアを誇っている。従来、レーザー加工後のバリ取りや研磨などの追加加工は、職人がいる市内の工場に外注してきたが、職人たちの繁忙度合いや眼鏡部品以外の加工を敬遠する職人の存在がネックとなり、受注を断念する案件が継続的に発生していた。また取引先よりバリ取り加工やフライス加工など、加工領域の増幅を

要望されていたこともあり、マシニングセンタの導入を行って追加加工を含めた加工領域の拡大に着手した。

今回の導入により、磨き加工をはじめとした追加加工の内製化に成功。外注する職人の繁忙度合いに左右されなくなったことで、平均7日間の納期短縮が実現したとともに、これまで職人の手で施されていた加工の技術をデータ化しマシニングセンタで再現することで、不良率がほぼ0%になるなど、品質向上と均質化にも一定の成果が見られた。今後は、マシニングセンタによる加工作業を習熟させ、眼鏡以外にも製造分野を拡大させたい狙いだ。

注目すべき成果

▶ 追加加工内製化による納期短縮と生産性向上。

バリ取りや研磨など追加加工を内製化したことで、外注先のスケジュールの影響を受けずに納品が可能となった。結果として平均7日間の納期短縮に成功。また手作業を機械化したことで不良率が低減。生産性が向上した。

事業活動の付加価値

▶ 職人が培ってきた高度技術の継承。

追加加工の作業をデータ化し、プログラミングで再現することで、職人不足が深刻化している現状において、これまで職人が培ってきた高度な加工技術を保存、継承することに貢献している。

今後の展望

▶ 加工内容多角化による新分野への進出。

マシニングセンタでの加工作業をより高度化・精緻化させ、様々な種類の加工依頼にも対応できる体制を整え、加工領域の拡大と、機械部品など眼鏡以外への製造分野の拡大を進めていきたい。

ものづくり専門員から一言

職人技術の継承で、ますますものづくりを支える存在に。

これまでも、レーザー加工技術で鯖江の眼鏡産業を支えてきた同社。マシニングセンタの導入による「職人の高度技術の保存と継承」は、ものづくりにおける職人不足への解決策のひとつ。加工領域の拡大により、鯖江の眼鏡だけでなく、県内のものづくりを支える存在になると期待する。



レーザー加工機



本社・工場

株式会社 TANABE

代表者／代表取締役社長 田辺 俊紀
設立／2005年（平成17年）
資本金／300万円
従業員数／7名
事業内容／金属製品製造業

本社：〒916-0014 鯖江市鳥羽町110-11
☎0778-53-1632 FAX.0778-25-1153
URL <https://www.laser-tanabe.com>